

## 2025年度事業計画

### 1. 事業方針

2025年度は、中期計画「**脱炭素社会への価値確立 (Green Value Creation & Acquisition)**」の最終年です。今まで培ってきた事業基盤を活かし、事業を通じた業界貢献の拡大と、将来に向けた事業基盤強化に取り組むとともに、さらなる成長に向け、価値の「具現化・事業化」から価値の「獲得(事業成立)」に活動の重点を進化させ、2025年度 事業方針「**脱炭素社会への価値獲得 (Green Value Acquisition)**」のもと、新試験棟含めて黒字化できる経営体質の実現を目指します。よって、KECの経営体質改善及びさらなる価値獲得に向けた「挑戦」と「改善」の2つの活動で、新試験棟(E3ラボ)の投資を乗り越え、2025年度特殊要因を除き、「収支差額実質黒字化(収支差額 △21百万円)」を目標とします。

#### 1.1 総務事項

「KEC基盤強化」の一環として、築後32年を経過した、生駒第1試験サイトの再構築(リニューアル)に取り組みます。KECの10m電波暗室3基は稼働率が極めて高くなっており、ご利用要望に十分にお応えできなくなる可能性が高まっています。よって、KECの目的である“業界貢献の拡大”を鑑み、10m電波暗室を拡充するため、生駒第1試験サイトを2025年度に一旦閉鎖してリニューアル工事を行い、2026年度より生駒第1試験サイトの第1電波暗室(10m電波暗室)をエミッション測定に機能限定して再活用します。

また、「KEC基盤強化」制度・仕組み・運営の進化において、会員メールアドレスの登録推進に加え、電子給与システム、契約書管理データベース、Web職員教育等にも注力し、生産性の向上を図ります。

さらに、「KECプレゼンス強化」の取り組みでは、2024年4月に操業を開始した新試験棟(E3ラボ)の特徴を継続して発信強化するとともに、KEC Webサイトの分かり易さ・発信力の強化、KEC情報誌のリニューアル、KECメルマガの定期配信化等、KECメディア媒体の刷新・強化に取り組み、展示会出展等も含めて、タッチポイントの拡大、会員数の増加、KECのご利用増を目指します。

#### 1.2 委員会活動

委員会活動では、下記2点の重点取組みを推進しました。

1点目は、「業界全体の技術力向上への貢献」の取組みです。国際規格や業界への貢献を目指し、EMC専門委員会では、リアル会議を増やし、WGの枠を超えた活動も強化して、参加者の相互啓発・人脈構築を促進するとともに、活動目標の強化や技術的な深堀に注力します。また、製品安全専門委員会では、外部アドバイザー・講師の積極的な活用により、安全知識やスキルの向上とともに、運営体制の強化にも取り組みます。活動で得られた成果については、規格策定国際会議への意見反映、国内外の学会発表やセミナー等での講演、そしてKEC情報誌、KECウェブサイト等でタイムリーに発信し、社会や業界、技術進化への貢献に取り組んでいきます。

2点目は、「業界の技術者の成長・地位確立」の取組みです。技術講座やセミナーにおいて、

受講者のアンケート結果を分析・活用し、受講者の理解度・満足度向上を目指して内容の充実に取り組みます。

技術者の地位向上を目指したiNARTE資格試験においては、好評をいただいている、受験資格を緩和したAssociate資格の訴求をさらに強化するとともに、iNARTE EMC資格では年間試験回数を倍増し、受験者の拡大に取り組みます。同時に、運営母体である米国iNARTE (Exemplar Global, Inc.)とより一層の連携を図り、資格制度の進化についても継続して検討・推進していきます。

### 1.3 試験事業

試験事業では、新試験棟(E3ラボ)の年間フル稼働と試験認定範囲の拡大に注力し、試験料収入は、2024年度実績753百万円より4%増の780百万円を目指します。また、認定範囲拡大も梃子に、依頼試験比率の向上にも取り組みます。

この方針の基、以下の2点の重点取組みを推進します。

1点目は、「試験の強化・拡大」の取組み、つまり、KECで実施できる試験の数を増やす取組みです。まず、設備投資においては、一昨年に実施した新試験棟(E3ラボ)関連の投資の回収に注力し、お客様要望の多い新試験・能力拡大と、老朽化設備の更新に絞って投資します。また、認定・認証では、ISO/IEC 17025認定維持とともに、E3ラボを活用した認定範囲の拡大と製品安全試験の認定取得に取り組みます。さらに、技能試験プロバイダとしてのISO/IEC 17043(2023)の認定更新も実施します。

2点目は、「技術の貢献強化と新事業の創出」の取組みです。技術貢献強化に向けて、技能試験では継続的な進化を目指し、前年度休止した3つの技能試験「放射エミッション(GHz)」、「通信ポート伝導エミッション」、「電源ポート伝導エミッション」を新プログラムで実施します。また、CISPR 25 放射エミッション／伝導エミッションの2つの技能試験を2025年度は休止し、改善・進化に取り組みます。よって、2025年度は、計6つの技能試験を実施するとともに、お客様ご自身での再試験用に、技能試験治具の貸出も行います。さらに、お客様からご要望いただいた新測定法の開発にも着手します。お客様にも協力いただき、低周波の磁界やシールド効果の試験を開発し、数年以内に試験サービスとして提供できるように開発・評価・検証を進めます。

## 1.4 事業計画

2025年度は、E3ラボの固定資産税が新たに発生し、収支差額は△21百万円で計画します。生駒第1試験サイト再構築費用を加えて、2025年度の税引前収支(税引前の正味財産増減額)は△29百万円、税引後収支は△30百万円の計画とします。なお、現中期計画(2023-2025年度)の目標である「**新試験棟への投資を乗り越えて黒字化**」では、固定資産税の助成金(21百万円)を2025年度に織り込んでいましたが、交付は2026年度になりました。よって、収支差額 実質黒字化(△21百万円)を2025年度の目標とし、2026年度以降にしっかりと黒字を継続できる経営体質の構築に取り組めます。

なお、2025年度公益目的財産の消費予定額は、委員会活動にて69百万円を消費する計画とします。

### <2025 年度 事業計画>

(単位: 百万円)

|           |             | 2024年度 |     | 2025年度<br>計画 | 前年比/ 差 |
|-----------|-------------|--------|-----|--------------|--------|
|           |             | 計画     | 実績  |              |        |
| 収 入       | 会 費 収 入 等   | 43     | 42  | 42           | 100%   |
|           | 試 験 料 収 入   | 760    | 753 | 780          | 104%   |
|           | そ の 他 収 入   | 73     | 74  | 83           | 112%   |
|           | 計           | 876    | 869 | 905          | 104%   |
| 支 出       | 人 件 費       | 324    | 327 | 332          | 102%   |
|           | 管 理 費       | 320    | 344 | 329          | 96%    |
|           | 減 価 償 却 費   | 262    | 269 | 249          | 93%    |
|           | 退 職 給 付 費 用 | 15     | 17  | 16           | 94%    |
|           | 計           | 921    | 957 | 926          | 97%    |
| 収支差額      |             | △45    | △88 | △21          | + 67   |
| 生駒第1再構築費用 |             | 0      | 0   | △8           | △8     |
| 税引前収支     |             | △45    | △88 | △29          | △29    |